

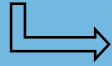
# 第38期静岡県社会教育委員会（報告書概要版）

諮問 新しい時代における社会教育～社会教育を基盤としたウェルビーイングの実現に向けて～  
社会教育の果たす役割やこれからの社会教育の方向性について

<諮問を受けて>

予期せぬことが起こる、変化の激しい時代。

通年、通例が良いとする考えから脱却し、状況に向き合う最適な方法を、常に更新する必要がある。



お互いに学び合い助け合う「相互教育性」という社会教育の強みから「新しい時代」と「ウェルビーイング」をどのように捉え、社会教育活動を今後どのように展開すべきか。

## 社会教育の変遷（報告書第1章）

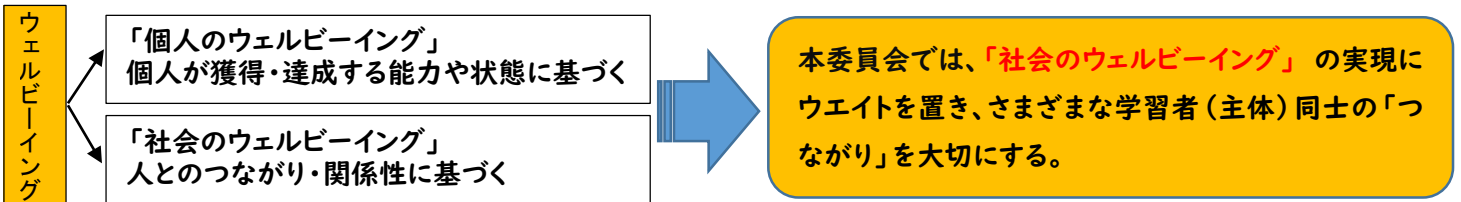
これまでの社会教育

時代の変化とともに教育を取り巻く環境の変化に対応し、地域の基盤作りの役割を担ってきた。

これからの社会教育

予測困難な時代となり、社会問題が多様化してきたことにより、「誰一人取りの残さない社会の実現」において、全ての人に学びを届ける役割が求められている。

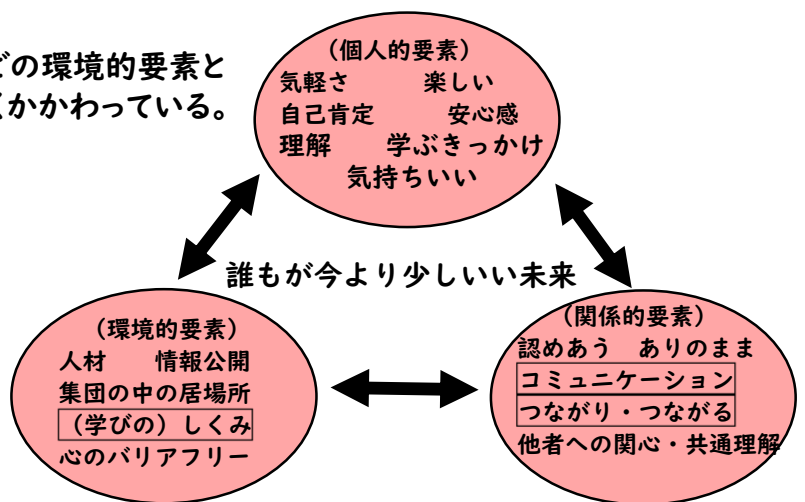
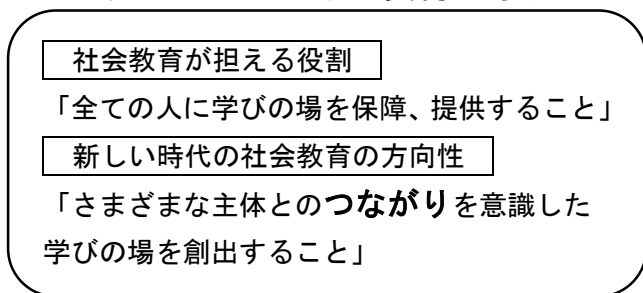
## 本委員会のウェルビーイングの捉え方（報告書第2章）



ウェルビーイングを成り立たせる要素（右図）

このうち、社会教育は「学びのしくみ(場)」などの環境的要素と「つながり」などの関係的要素の部分で大きくかかわっている。

ウェルビーイングの実現に向けて・・・



提言

「つながり」を意識した活動を行うことがウェルビーイングの実現には最も重要。  
新しい時代の全ての人々のニーズに応じるために、現在の活動を「つながり」に着目して確認する必要がある。

## 「つながりチェックシート」（報告書第3章）

本委員会では、各自が行っている活動を「つながり」の視点で捉えるためのツールとして活用できればと考え、このチェックシートを作成した。

チェックシートは、つながりの状況を可視化することができ、新たな「つながり」の必要性やつながり方を確認できる。現在の活動を確認するきっかけとして活用していただきたい。



地縁など自然に存在する「つながり」から、意識してつながりを構築しなければならない時代を迎えた。つながる場や機会の提供に加え、専門的知識や技能を持った人材の育成が今後求められる。